

1 業務方針

ひろしま国際センターは、グローバル化の進展への積極的な対応を通じた県内地域の活力向上に寄与するため、民間レベルの国際交流の推進、県民の国際理解の増進を図る一方で、外国籍県民の地域社会における様々な課題解決に向けて、広域センター機能やコーディネート機能の一層の強化に努めます。

こうした考え方のもとで、平成29年度は次の重点施策を中心に、交流部と研修部が一体となって、国際交流・国際協力事業の効果的かつ効率的な推進を図ります。

【交流部】

- 多文化共生社会実現のため、市町の多文化共生担当職員向けの研修や県内地域の国際化協会等が主催する講演会・研修会への講師派遣等により、市町との連携を強化する一方で、日本語ボランティアの育成や県内地域の交流団体との連携による多文化共生活動を推進します。
特に、需要が見込まれる、医療通訳ボランティアの養成に取り組みます。
- グローバル社会に呼応した国際人材や平和貢献に寄与する人材を育成するため、異文化とのコミュニケーションスキルの習得や学校教育におけるキャリア教育を支援する研修の開催や啓発事業を実施します。
- 留学生に対し長年実施してきた奨学金支給事業に加え、「広島県留學生生活躍支援センター」を中核として、優秀な留学生の受入促進から、留学中の勉学・生活及び県内企業への就職までを総合的に支援するため、各種事業を充実・強化します。

【研修部】

- 広島県立広島国際協力センターの指定管理者として、引き続き施設利用の促進を図るとともに、より効率的な管理に努めます。
- 県や国際協力機構（JICA）中国国際センターから受託する研修等事業については、着実かつ効果的に実施します。
- 自主事業研修として、県内大学の留学生を対象とした研修事業を着実に実施するとともに、海外の自治体や大学等からの研修の受入れの拡大を図り、近隣自治体や中四国の大学、地域住民等と連携し、国際人材育成拠点施設である「ひろしま国際プラザ」を有効に活用し、国際交流・国際協力事業の一層の充実に取り組みます。